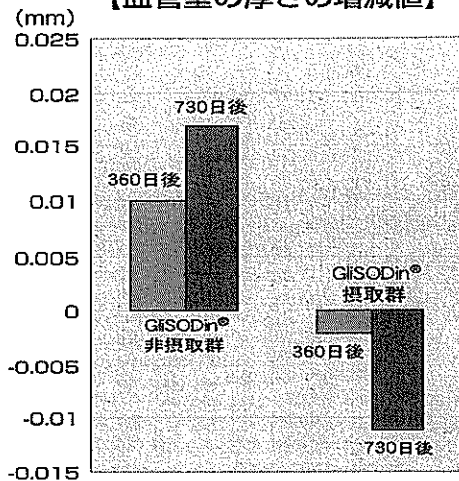


# 動脈硬化症に関する「メロングリソディン」の長期臨床試験結果発表

ニュートリション・アクト

【血管壁の厚さの増減値】



ニュートリション・アクト(東京都港区、☎03・5475・7313)は、「メロングリソディン」のメタボリックシンドロームによる動脈硬化の予防・改善に関する長期臨床試験結果を発表した。

この試験は、フランス予防医学協会、パリ・アメリカン病院の研究チームによって、メタボリックシンドローム保有者に対して行われたもの。パリ大学医学部のクロアレック前教授の指導により、実験開始の1年前から食事管理を開始し、2年目から、食事療法に加え「メロングリソディン」摂取するグループと食事療法のみグループの2群に分けて2年間にわた

る試験を行った。

試験結果は、血液検査値、血中過酸化脂質と動脈硬化のリスクを直接反映する頸動脈の血管壁の厚さ(IMT)によって評価。3年間に及ぶ食事療法により、血中脂質、血圧、血糖値は両群とも改善。

さらに「メロングリソディン」摂取群は、抗酸化酵素活性が35%上昇、血中の過酸化脂質は34%減少、血管壁の厚さも有意に改善された。

一方、食事療法のみグループは抗酸化酵素活性、血中の過酸化脂質ともに改善は見られず、血管壁の厚さは悪化の傾向を示していた。

抗酸化素材として「オキシカイン」の名称で知られる同素材が、「グリソディン」と名称変更して1年が経過するが、メタボリックシンドローム対応素材として長期間の試験結果が出されたことで、素材としての用途の幅が広がることとなる。